

キクの養液土耕で 肥料コスト90%削減



出雲市の「荒茅電照菊部会」は、県内最大の輪ギク産地です。

この地域は、砂質土で肥料が流亡しやすいことから、長年、多肥栽培が行われてきました。その一方で、生理障害等の発生も多く、施肥管理の見直しが求められていました。

技術普及部では、この解決策として、当該地域に養液土耕を導入し、地域全体の普及につなげました。

普及活動の内容

- ① 土壌診断・原水分析の実施
- ② 研修会の開催
- ③ マニュアルの作成
- ④ 生育調査の実施
- ⑤ 生育状況に応じた給液管理指導

普及活動の成果*1

単肥施用により、塩類集積しない施肥管理を実現

① 施肥量 慣行栽培の75%減

② 肥料コスト // 90%減

③ 施肥・かん水労力

12月出し・10a当たり

50時間削減

*1 H19年産実績

地域への波及効果

H18 導入者1名、導入面積2.5a → H20 6名、187a

